

FreeBSD portsの CVSでの提供終了について

2013/02/16
高柳充寛(high@ebug.jp)

FreeBSDのバージョン管理システム

- CVSからSubversionへ移行
- srcは2008年6月,docは2012年5月, portsが2012年7月に移行完了
- Subversion -> CVS とエクスポート (doc除く)
- メンテナンスが高コストなので
PortsのCVSでの提供は2013年2月28日で終了
- 代替手段は？

Security Incident on FreeBSD Infrastructure

- 2012年11月11日(日) FreeBSD.org クラスタにある2台のマシンで不正侵入を確認
- 2012年9月19日から11月11日までの期間にインストールされたpackageパッケージと、その期間にcvs(csup,cvsup)で取得したportsは要注意
- 他は影響なし、あるいは検証済み
- この影響で9.1-RELEASEが遅れ、Tier-1アーキ(i386やamd64)以外のpackageは無くなった

Security Incident その2

- <http://www.freebsd.org/ja/news/2012-compromise.html>
- <http://www.freebsd.org/news/2012-compromise.html>

portsnap

- portsツリーの差分, 検証つきアップデート
- 設定ファイルは /etc/portsnap.conf
- ファイアウォールの内側から使用するには環境変数 `http_proxy=proxy.example.com:8080` 等を設定
- /etc/make.confの
`FETCH_ENV= "FTP_PROXY=http://proxy:8080/
HTTP_PROXY=http://proxy:8080/"` は見ないので注意

portsnap その2

- 最初の一回は
portsnap fetch
portsnap extract
- 二回目以降は
portsnap update
- cronでまわすなら
`portsnap cron update`
- portsnap が2~5MB/月、pmirror が5GB/月で
効率の点から見ると組織内ミラーは無駄

freebsd-update

- Base Systemの署名検証付きバイナリ アップデート
ソースもとってくるよ!
- サポートはRelease のみ (CurrentやStableはsvnで)
- 設定ファイルは /etc/freebsd-update.conf
- GENERICカーネルを/boot/GENERICに置いていれば
(実行されているカーネルでなくとも) アップデートされる
カスタムカーネルを使用している場合は当然、
sysソースからカーネル再構築、インストールが必要

freebsd-update その2

- # freebsd-update fetch
freebsd-update install
- cronで定期的にまわすなら
`freebsd-update cron`
- マイナーおよびメジャーリリースのアップグレードに対応
(8.xRから9.1Rへのアップグレードも可能)
freebsd-update -r 9.1-RELEASE upgrade
- /etc/make.confの
`FETCH_ENV= "FTP_PROXY=http://proxy:8080/
HTTP_PROXY=http://proxy:8080/"` は見ないので注意

svn

- CurrentやStableのソースをとってくるには Subversion (と当分の間CVS)
- 公式svn ミラーはいまだに米国二箇所しかない
- # svn co https://svn0.us-west.FreeBSD.org/ports/head /usr/ports
- # cd /usr/ports && svn update
- ファイアウォールの内側から使用するには http_proxy 環境変数を設定

svn その2

- 実行中のsvnをctl-Cなどで中断してしまうと、以下のように、lockファイルが残って次のsvnが実行できなくなることがあります。
svn: Working copy '/usr/ports' locked
svn: run 'svn cleanup' to remove locks (type 'svn help cleanup' for details)
- この場合、
cd /usr/ports/
svn cleanup

svn その3

- ```
cd /usr/ports/devel/subversion
make config-recursive
```
- しても依存関係でいろいろ余分なものがインストールされる
- portconfは諦めて /etc/make.confに  
NO\_X11=yes  
NO\_GUI=yes  
WITHOUT\_IPv6=yes  
と書いて解決

## 参考URL

- <http://www.freebsd.org/doc/ja/books/handbook/ports-using.html>
- <http://www.freebsd.org/doc/ja/books/handbook/updating-upgrading-freebsdupdate.html>
- <http://gihyo.jp/admin/clip/01/fdt/201207/18>
- [http://www.int.otaru-uc.ac.jp/lyx-howto/install/macintosh/behind\\_proxy](http://www.int.otaru-uc.ac.jp/lyx-howto/install/macintosh/behind_proxy)
- <http://d.hatena.ne.jp/flageo/20120407/p1>
- <http://www.freebsd.org/doc/ja/books/handbook/history.html>